総合支所の窓口受付時間を変更

職員の働き方改革を進め、より安定した窓口サービスを提供するため、4月から総合支所の窓口受付時間を変更します。

●内容

□**窓口受付時間**　午前9時～午後4時30分

□**対象**　総合支所の全ての窓口

●その他　次の業務は、これまでどおり、8時30分～午後5時15分までの時間で受付します。

□出生や死亡、婚姻や離婚など戸籍に関する届出

□電話、メールなど、対面以外の通信手段による相談

問**市民生活部市民課**　☎(22)3211

証明書のコンビニ交付サービス

マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニなどで、住民票の写しや戸籍などの証明書を取得できます。

発行手数料が、総合支所窓口で発行するよりも100円安くなります。便利でお得なコンビニ交付サービスを、ぜひ利用してください。

●利用可能店舗　マルチコピー機を設置しているコンビニ、市役所本庁舎など

●取得できる証明書

□住民票の写し

※本人と本人の同一世帯分

※除票、住民票コードや個人番号を記載したものは取得不可

□印鑑登録証明書

※本人分

□所得課税証明書

※過年度は取得不可

※本人分

□戸籍謄本（抄本）、戸籍の附票

※栗原市に本籍があり、本人が在籍する現在の戸籍

※除籍・改製原戸籍は取得不可

●利用時間

□**戸籍証明**　午前8時30分～午後5時15分

※土・日曜日、祝日を除く

□**その他**　午前6時30分～午後11時

※年末年始（12月29日～1月3日）、システム休止日を除く

※市役所本庁舎のマルチコピー機の利用時間は、戸籍証明と同様です。

●準備するもの

□マイナンバーカード

□利用者証明用電子証明書※の暗証番号

※カードには、利用者証明用電子証明書が発行されている必要があります。

問**市民生活部市民課**　☎(22)3211

組織機構を改編

4月1日から市役所の組織を改編します。

●改編内容

□金成総合支所萩野出張所を廃止。

□教育センターを廃止し、10地区の総合支所市民サービス課へ業務を移管。

□農林振興部と商工観光部を統合し、部の名称を産業経済部にします。なお、課名や係名に変更はありません。

※詳しくは、市ウェブサイトで確認するか、問い合わせください。

問**企画部デジタル行政推進室**　☎(22)1126

▲市役所に設置している交付端末

市内の文化財散策

―(246) 南部神楽とその継承

南部神楽は、江戸時代末期から伝わる民俗芸能です。その名称は岩手県南を含む旧仙台藩領で使われており、それ以北の岩手県では「仙台神楽」、「胆沢神楽」、「エンギ神楽」などと呼ばれています。

古くから神仏へ奉納されてきた「山伏神楽」、「法印神楽」は、加持祈祷や神事を行う山伏や法印などの修験者による神楽で、南部神楽は山伏神楽の影響を受けて成立しましたが、その特徴である獅子頭を用いた「権現舞」を取り入れず、独自の発達を遂げたものとして位置づけられています。

民衆が楽しむための演目が多数を占めており、浄瑠璃や歌舞伎のように舞手がセリフを唱えて演じる「劇舞」は南部神楽特有のものです。一方で、神に奉納する「式舞」や「神舞」は舞が中心となっています。民衆が担い手となって広まった南部神楽は、神に捧げる祈りとして、また、心浮き立つ祭りの調べの1つとして、四季を通じて人々の暮らしを彩ってきました。

南部神楽が盛んな地域として知られる栗原ですが、近年は担い手や発表の場の減少などが課題とされています。これに対し、流派を越えた共演や協議会の結成など、継承のための取り組みが行われています。その1つとして、2月15日(日)に「神楽ふれあい教室」が開催されます。ぜひ、この機会に、南部神楽を体験してください。

※詳しくは、市ウェブサイトで確認してください。

市ウェブサイト　神楽ふれあい教室

問**教育部文化財保護課**　☎(42)3515

栗原市立病院令和6年度取組事項に対する点検・評価

市立病院の取り組みを評価する令和7年度栗原市立病院経営評価委員会で、専門家などから、令和6年度に市立病院が行った取り組みに対し、点検や評価を受けました。その概要を紹介します。

●点検評価の総括内容

医療を取り巻く環境は極めて厳しく、物価上昇、人件費の増加、円安の影響など、費用の増加は避けられず、ほとんどの自治体病院では、入院・外来患者数を維持できても、諸費用の増加、人件費の増加に見合う診療報酬を得ることは難しい状況です。また、一般企業のように価格改定などで収益の確保は、制度上難しく、現状を前提として、限られた資源の中で最善の対応を図る必要があります。

急速に進行する人口減少の影響で、患者数の減少が見込まれますが、すでに定着した患者や、地域として守るべき患者の皆さんを取りこぼすことのないように医療提供体制を整備することが、ひいては病院運営にとってもマイナスを減らす対策として望ましいです。特に栗原中央病院は、地域の中核的病院に位置付けられており、地域住民が安心して暮らしていくために重要な医療機関であることから、栗原中央病院の持続と充実を最優先に病院事業全体を組み立てていただきたい。

厚生労働省の2040年外来機能予測では、特に東北地方では多くの医療圏で診療所の医師数が半減するとされており、地域のインフラとして自治体が運営する公的医療機関の役割は、ますます重要になるため、今後の医療体制の見直しに当たっては、さらに無駄を省く経営努力の継続と自治体としての覚悟を持った政策的判断が求められます。また、市民への丁寧な説明により、医療のかかり方に関する意識の向上にも力を注ぐ必要があります。

※各病院の評価など、詳しくは、市ウェブサイトで確認してください。

問**医療局医療管理課**　☎(21)5631

栗原市立病院あり方検討委員会意見

市立病院では、経営改善を図るため、限りある財源や人材、医療供給体制の中で、病床数の再編を重ねてきました。しかし、依然として経営は大変厳しい状況が続いています。

そのため、市内外の医療関係者などで構成する、栗原市立病院あり方検討委員会を設置し、市立病院のあり方について意見を求めてきました。

昨年、この委員会を3回開催し、次のような意見などが出されました。

●委員会意見

□市立3病院は、抜本的な見直しが必要で、近い将来、市立3病院を統合する道筋は避けられない。

□統合に伴い、患者の移動手段などで利便性を損う恐れがあるため、できるだけ、市民にとってマイナスにならないよう対策を考え、丁寧な説明を行い、おおむねの理解を得た上で、早期に進めなければならない。

□将来的に若柳病院と栗駒病院が栗原中央病院に統合される場合は、民間の力も想定した上で、2病院の施設活用についても、検討すべきである。

※詳しくは、市ウェブサイトで確認するか、問い合わせください。

問**医療局医療管理課**　☎(21)5631

市長随感

栗原市長　佐藤　智

未来へつなぐ二十歳の門出

1月11日(日)、栗原市二十歳を祝う会を開催しました。

晴れやかな表情で会場に集った皆さんの姿に、大きな希望と頼もしさを感じた1日でした。

市も昨年4月、誕生から20周年を迎えました。市と歩みを同じくして成長された皆さんの門出をお祝いできることを大変うれしく思います。

今年二十歳を迎えられた人は529人でしたが、20年前には、およそ千人だったことを振り返ると、人口減少の現実を改めて実感いたします。現在の出生数はさらに減少しており、人口減少対策は待ったなしの課題です。

これまで市では、子育て支援や若者の就職支援など、子どもたちの未来を育む施策に取り組んできました。健やかな成長を支える環境づくりは、未来への大切な投資です。現在は、全ての子どもたちが安全で安心して遊べる場を確保するため、屋内外遊戯施設の整備に取り組んでいます。

地域全体で子どもたちの成長を温かく見守り、支え合う風土を育みながら、これから二十歳を迎える皆さんが希望を胸に門出の日を迎えられるよう、子育てしやすい栗原を目指し、引き続き歩みを進めていきます。

▲開催した二十歳を祝う会